

社会資本総合整備計画

平成29年11月30日

計画の名称	安心・安全で元気なまちづくり事業							重点配分対象の該当										
計画の期間	平成26年度～平成29年度（4年間）			交付対象	行田市													
計画の目標	<p>本市の公園は、昭和後期を中心に整備されたものが多く、公園施設（遊具等）は老朽化し、また、園路、トイレ、水飲み等は現行のバリアフリー基準に合致していない状況が見られる。一方で、高齢化の進展、市民ニーズの多様化、余暇時間の増大等から公園を取り巻く環境は大きく変化しており、障がい者・高齢者等がだれでも安心して安全に利用できる公園整備が急務となっている。</p> <p>このため、平成21年度に公園施設長寿命化計画を策定し、事後的な維持管理から予防的な維持管理へ転換するとともに、市民参画・協働による計画的な維持管理を推進し、地域コミュニティの場として、だれもが安心・安全に快適に利用できる公園づくりをすすめていく。</p> <p>さらに、水城公園の施設老朽化等に起因する事故を未然に防止できるよう、安全安心な施設整備を行なうために、水城公園の長寿命化計画を策定する。</p>																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化適合公園を23%（H26当初）から29%（H28末）に向上させる。 ・遊具の更新達成率を75%（H26当初）から88%（H28末）に向上させる。 ・公園施設長寿命化計画により管理される都市公園の割合を89%（H26当初）から91%（H29末）に向上させる。 																	
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考											
				当初現況値	中間目標値	最終目標値												
				(H26当初)	(H28末)	(H29末)												
都市公園のバリアフリー化適合率 = バリアフリー化適合公園数 / 市管理都市公園数（56公園）				(13公園)	(16公園)	(16公園)												
				23%	29%	29%												
都市公園内の遊具の更新達成率 = 更新実施済遊具数 / 市管理都市公園遊具数（187施設）				(140施設)	(165施設)	(165施設)												
				75%	88%	88%												
公園施設長寿命化計画により管理される都市公園の割合 = 策定都市公園数 / 対象都市公園数（56公園）				(50公園)	(50公園)	(51公園)												
				89%	89%	91%												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	74百万円	A	64百万円	B	—	C	10百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	13.5%						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益 比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30					
A-1	公園	一般	行田市	直接	行田市	行田市都市公園安全・安心対策事業	安全安心対策（中央児童公園等2箇所における便所等バリアフリー化） 長寿命化対策（天神公園等9箇所における遊戯施設の改築） 長寿命化計画（1箇所）	行田市							64	—	策定済	安心安全対策 (30百万円) 長寿命化対策 (30百万円) 長寿命化計画 (4百万円)
									合計					64				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益 比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30					
									合計					0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29	H30					
C-1	公園	一般	行田市	直接	行田市	管理施設改築事業	フェンスの改築 2公園	行田市							6			
C-2	公園	一般	行田市	直接	行田市	健康遊具整備事業	健康遊具の整備 1公園	行田市							0			
C-3	公園	一般	行田市	直接	行田市	管理施設改築事業	四阿・園内灯の改築 2公園	行田市							4			
									合計					10				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
C-1	老朽化したフェンスを改築することで、誰もが安心して快適に園内を利用でき、通り抜けも防止し安全性の向上に寄与する。																	
C-2	ストレッチ等が出来る健康遊具を整備することで、健康増進が図られ、併せて、幅広い年齢層の交流が促進され、地域コミュニティの形成に寄与する。																	
C-3	老朽化した四阿・園内灯を改築することで、利用者が休憩施設を快適に利用でき、夜間の暗がりも防止し安全性の向上を図ることで安心して公園を利用できる。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29	H30					
									合計					0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	15	15	3	8	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	△4	
交付額 (c=a+b)	15	15	3	4	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	15	15	3	4	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。